

国民の皆さん・応援宜しくお願い申し上げます。

Q 太郎



春になると「花粉・砂漠の砂・道路工事の車粉・振動等」の生活環境が悪くなったと感じますがどうしてですか？

道路工事関連については、一般会計で今は優先順位の低い道路事業は年度末でないと言算が使えなく春に集中するそうです。しかし、改善の可能性があります。それは、「舗装修繕計画」を作り身近な道路を大事に長持ちさせる努力が必要です。

「日本経済を支えるみんなの社会資本」ですからね“

花粉や砂漠の砂は仕方ないと思います。

AI先生



先進国の道路維持管理はどのようなモノかお教え下さい



一般道は USA や EU では、調査に基づき損傷に相応しい修繕法が行なわれています。「調査のための調査」は行なわれていません。

因果関係のある目的形の調査方法で有意義なモノです。

日本は先進国の模倣ですが「独自に変更」し基準化しています。

例えば：PSI(供用サービス指数)⇒MCI(舗装維持管理指数)

↑利用者立場の指標

↑管理者立場の指標

ところが、近年・使えない事が判りました。

調査項目は①滑らず・平らな路面性能とそれを支える②舗装の構造的健全度の2点で十分です。



2大項目の調査で十分というのは本当ですか？

①利用者だから路面性能：滑らず・平らは判ります。

②資産保全：健全度の根拠は有りますか？

③進捗状況は如何ですか？



健全度の根拠については、政策になり各研究・開発機関が各種方法論を実施中で略・完成に近いです。USA ほどの研究規模ではありませんが・・・一応の結果は出ています。

① 研究結果：2種類：MWD・縦断形状変化から健全度算出。

② 業界は複雑・既得権益等で革新進捗が遅いのは残念です。



もうすぐ工事の平準化と有用な調査が出来て利用者・管理者・沿道住民（納税者）が幸せになれるですね  
住民の血税を効率良い活用に期待しています。  
有り難うございました。

